

企画展

土を
つち



お話ししながら
見てみよう!



土器の
土器の
土器の
土器の

ね



つね



ねん
1万年



お子さまの
博物館デビューにも
おすすめ!



令和8年

7.11 土 -

8.30 日



休館日 ▶ 月曜日(ただし7月20日(月・祝)、8月17日(月)は開館)

時間 ▶ 9:00~17:00(観覧受付は16:30まで)

観覧料 ▶ 一般400円、高校生・学生200円
中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方
(付添1人を含む)は無料
「ぐるっとパス」で観覧できます。



画像：長竹遺跡「人面付き注口土器」(埼玉県教育委員会、小川忠博氏撮影)
小林八束1遺跡「中空ミズク土偶」(埼玉県教育委員会)
市指定文化財 西原大塚遺跡「トリ形土器」(志木市教育委員会)
船山古墳「琴を弾く男子土輪」(さきたま史跡の博物館)
市指定文化財 西原大塚遺跡「人面把手付土器」(志木市教育委員会)
長竹遺跡「イノシシ形土製品」(埼玉県教育委員会)
デーノタメ遺跡「クルマ形土製品」(北本市教育委員会)
長竹遺跡「イヌ形土製品」(埼玉県教育委員会)
小林八束1遺跡「キノコ形土製品」(埼玉県教育委員会)



埼玉県立
歴史と民俗の博物館
Saitama Prefectural Museum of History and Folklore



〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町4-219
電話/048-645-8171 FAX/048-640-1964
HP/https://saitama-rekimin.spec.ed.jp/



土をこねてねね つねつね 1万年

土製品の楽しみ方

土をこねて形を作り、それを焼いて道具を作ることは、1万年以上も続く人々の暮らしの一つです。土器やアクセサリなど、日常生活に必要な道具だけでなく、ひとの形をした土偶や動物の形をした土製品など、心の文化に関わるものも作られていました。人々は、自由に形を変えられる土(粘土)を使って、さまざまなものを作ってきたのです。

この展覧会では、埼玉県内の出土品を中心に、縄文時代から古墳時代にかけて作られた心の文化に関わる土製品を紹介します。そして、当時の人々が何を思い、身の回りのひと、動物、モノをどのように表現してきたのかを考えます。

※本展覧会では、観覧者同士が会話を楽しみながら鑑賞できる環境づくりを目指しています。そのため、展示室内が少しにぎやかになる場合がありますので、あらかじめご了承ください。



体験事業

粘土ぺたぺた 土版づくり

- 日時** 令和8年8月16日(日) ①10時～ ②14時～
- 会場** 当館
- 定員** 各20名、小学3年生以上となたでも
(小学生は保護者同伴)
- 参加費** 企画展観覧料(中学生以下等無料)、
材料費500円程度
- 申込** 電子申請(抽選)
- 申込期間** 令和8年6月23日(火)～7月23日(木)



県内施設連携事業

埼玉縄文カード (土製品編) 配布

県内の11か所の博物館等をめぐってカードを集め、縄文博士をめざそう!



詳細はこちら

展示解説

- 日時** 7月20日(月・祝)、8月8日(土)、
8月29日(土)、
※小学生向け解説 8月15日(土)
13:30～14:00

- 講師** 当館学芸員
- 会場** 当館特別展示室

事前
申込不要

おうちでめりめり 土製品めり絵 の配布



※関連事業の詳細は
当館ホームページをご覧ください。



次回展覧会
特別展「文人画家の寄り道
—文晁、華山と同好の土—」
令和8年10月10日(土)～11月23日(月・祝)

画像：小林八束1遺跡「土偶集合」(埼玉県教育委員会、小川忠博氏撮影) /
小林八束1遺跡「中空ミズク土偶」(埼玉県教育委員会) /
地獄田遺跡「人面付土版」(久喜市教育委員会)

主催／埼玉県立歴史と民俗の博物館
後援／朝日新聞さいたま総局、埼玉新聞社、産経新聞さいたま総局、テレ玉、東京新聞さいたま支局、
日本経済新聞社さいたま支局、NHKさいたま放送局、毎日新聞さいたま支局、読売新聞さいたま支局、FM NACK 5



交通機関／JR大宮駅から東武アーバンパークライン(野田線)大宮公園駅下車徒歩5分／駐車台数(15台)に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

